

インド工科大学ハイデラバード校（インド）と部局間交流協定を締結

2016年12月2日（金）、工学研究院・工学院・工学部、情報科学研究科及び総合化学院とインド工科大学ハイデラバード校との間で、部局間交流協定の調印式を、工学研究院の 名和豊春 研究院長、情報科学研究科の 宮永喜一 研究科長、総合化学院の 大熊 毅 学院長、インド工科大学ハイデラバード校の Uday B. DESAI 学長、ほか両大学の関係者列席のもと、本学フロンティア応用科学研究棟2階セミナー室で行いました。

インド工科大学は、工学と科学技術の分野において、インド最高峰・世界的にも有名な国立大学であり、特に、インド工科大学ハイデラバード校は、「日印協力の象徴となる一流の教育機関の設立」、「日本式経営・工学教育のインドへの導入」、「日印間の人的・学術交流の強化」を目的として、2008年、ハイデラバード市の郊外に日本政府が設立した大学です。

今後、同大学との部局間交流協定の締結により、インドから優秀な留学生を確保し、また、インド工科大学ハイデラバード校に限定した JICA の奨学金の利用等、国際交流の促進に有益となることから、部局間交流協定の締結に至ったものです。

この協定は、本学の学生に対して、国際性を涵養し、国際的に活躍できる人材の養成に貢献することが期待されるとともに、本学が取り組んでいる Hokkaido サマー・インスティテュート及びラーニング・サテライトへの参加を含め、大学間交流の一層の促進が期待されます。

（総合化学院）



関係者との記念撮影